

## ★ 誌上学習会 2月号 自宅学習のすすめ ⑩

～動画を見てみましょう～ (会員限定公開)

広通研 研修部

通信1月号に掲載した課題文の動画を作成、ホームページにアップしました。

動画は区切って見やすくなっています。繰り返しご覧ください。

気持ちと周りの状況の変化をどのように表現しているか意識して見てください。

### 子育ての経験談(病院の待合室)です

40年近く前の話です。娘が2歳のころに耳が痛いと言いました。

他県から引っ越してきたばかりで、知り合いもいません。大きな病院に行けば大丈夫だろうと思って連れて行きました。待合室でたくさんの人が順番を待っていることに、びっくりしました。

受付を済ませて名前を呼ばれるのを待っていました。次第に娘の機嫌が悪くなり、ぐずぐず言い始めました。周りの人に迷惑がかかると思い、「少しだけ。」とその場を離れました。

しばらくして待合室に戻りました。時間ばかりがどんどん過ぎて、待っている人も少なくなり、不安になってきました。受付に聞きにいくと、「名前を呼んでも返事がなかったので飛ばした。」とのこと。「えっ!?」と思いましたが、再度、呼ばれるまで我慢して待ちました。

やっと診察室に入ったときには、娘はとても機嫌が悪く泣き始めており、医師から、「診察できないから子供を泣かすな。」と怒られてしまいました。診察が終わって帰るときには、心の中で「こんな病院二度と来るものか!」と叫んでいました。

### 【動画の内容】

①ろう者の自然なおしゃべりのテンポで表現しています。

②解説です。

\* 待合室の混雑している様子とお母さんの驚きを表現する手の形や表情(眉毛 口など)はどのように表現されていますか。なぜ驚いたのかも解説があります。

\* 娘さんの様子の変化です。時間の経過が分かりやすい表現について説明しています。娘さんの機嫌をあらわす表情や動きがだんだん強くなっています。

\* 待っている人が減っていく様子やお母さんの不安な気持ちを表現するには、手の動きだけではなく視線も大切なことが分かります。

\* 「えっ!？」に込められたお母さんの気持ちを表現する手話がいくつか紹介されています。単語や使い方の引き出しを増やす好機です。

\* RS(ロールシフト):話し手が複数の人物になりきる話法。

娘と母と医者。3人の様子や言ったことを瞬時に切り替えながら表現しています。切り替えのポイントは2つ、「反応」と「人物の名詞」ですね。

RSの部分を繰り返しシャドーイングしてみましょう。楽しくなると思いますよ。

③一つ一つの手話をゆっくりと表現しています。